

第 43 回 社協チャリティバザー 実施報告書

令和 4 年 12 月 11 日(日)、市立社会福祉センターにおいて、社会福祉関係団体及び協力団体・グループや市民の皆様からいただいた品物を市価の半額程度で販売、売上金はすべて市民の福祉活動に活用することを目的として第 43 回社協チャリティバザーを開催しました。

開催に先立ち 10 月 6 日(木)に共催団体による準備会を開催し、11 月の 1 ヶ月間で物品提供・寄付金の受付を行いました。

【前々日】

12 月 9 日(金)、午前 9 時 30 分から、物品の一部開封作業を募集したボランティアさんと共に実施しました。

【前 日】

12 月 10 日(土)、午前 9 時から社会福祉センターにて、バザー前日準備を行いました。開封作業や値付けを担う協力員はセンター裏ガレージ前で、いただいた商品の開封作業と値付け作業を行いました。値付では市価の半額より安くなるように値札を貼り、値付けした品物を社会福祉センター 2 階へ搬入し、設営・展示を担う協力員が展示を行いました。また、オークションを屋外に変更した事に伴い、テント設営も実施しました。



【当 日】

12 月 11 日(日)10 時から販売が開始されました。今回も、昨年から引き続き、社会福祉センターでの開催となりました。感染症対策として【入館人数の制限(入室人数の制限)・入館時の手指消毒と検温・大阪コロナ追跡システムの導入・会場内換気・午前と午後の協力員を交代する】などに取り組みました。

午前 8 時には社会福祉センター正面玄関に開場を待つ来場者の列ができ、販売開始とともにまず 100 名が入館。すぐに定員まで達しました。

今回初めて、オークションを屋外テントで実施し、来場者の入館できる人数を増やす等の取り組みを行いました。

メイン会場となる大会議室では、200 円～400 円コーナーとし、小会議室では 100 円コーナー、大広間では 500 円以上コーナー、健康相談室を食料品・企業提供品コーナーと会場を分けることにより、買い物をしやすくしたことによって、お目当てのものをいち早く見に行けるよう工夫しました。またセンター入口外では野菜コーナーを設置し、出口から帰



られる方が、野菜を購入しやすいように場所の工夫を行いました。

午前 11 時からオークションを開始、企業などから提供のあった宿泊招待券・食事券・入浴招待券・空気清浄機・アウトドアグッズ、ビーズクッション等の目玉商品が落札されると会場はおおいにぎわい、盛り上がりました。

午後 2 時にはすべてのコーナーで販売を終了し、協力員と共に片づけを行い、無事に終了しました。



【当日売上げ及び寄付金額】

コーナー	第 43 回売上金	第 42 回売上金
100 円コーナー	557,191円	59,000円
200~400 円コーナー		121,900円
500 円コーナー		167,390円
野菜コーナー	136,300円	102,350円
オークションコーナー	128,700円	114,200円
寄付金	313,190円	353,220円
合計	1,135,381円	918,060円

《前回より、+217,321円》

大型商品提供者（敬称略・順不同）

関西エアポートワシントンホテル
 犬鳴山温泉不動口館、犬鳴山温泉み奈美亭
 イオンリテール株式会社・イオン日根野店
 大阪タオル工業組合、阪南青果(株)
 株式会社向新、株式会社リノ、不二製油株式会社
 バイキング左近（左近商事株式会社）、(株)平善
 明治安田生命りんくう営業所、大阪泉州農協
 サンワールド株式会社、がんこ座
 大阪信用金庫泉佐野支店、庄司織布株式会社
 outdoorLIFESHOP PILO
 ダイナム大阪泉佐野店、射手矢 康之、右馬野 博
 西願 幸雄、麻生川 敏行
 （他、匿名の方々から提供頂きました）

